



秋。クマから身を守る基本



実りの秋、食欲の秋…。クマは、冬眠を前に餌を求めて活発に活動します。県内の山はクマの生息地ですから、どこの山でもクマと出遭う可能性があります。クマによる人身被害を防ぐには、「クマと遭わない」「クマを引き寄せない」ことです。それでも出遭ってしまったら、「興奮しない、させない」ことです。

クマと遭わないために

秋、クマの餌になる実がなるところには行かない！

9月からはブナやクルミ、クリ、ミズナラの林。さらに10月からはヤマブドウ、カキの実がなっているところも注意が必要です。

頻繁に物音や声を出して歩く！

鈴、笛、ラジオなどを鳴らすか、大きめの声で話しながら歩く。

視界の悪いとき、見通しの悪い場所には立入らない！

早朝、夕方、霧などで視界の悪いときや、日中でも見通しの悪い林には行かない。

クマを追い払ってから外出する！

家の周りにクマがいる場合があるので、家から外に出るときは、笛・大声・ラジオ・爆竹などでクマを追い払ってから戸外に出るようにする。

クマを引き寄せていませんか？

ゴミ捨て、食べ物の持込みは厳禁！

人家のまわりに生ゴミなどを捨てたり、置いたりしない。墓の供物は持ち帰る。

ハチの巣や、カキ、クリ、ドングリ、クルミ、ギンナンなどは注意！

ハチの巣を放置しない。収穫予定のないカキ、クリなどは早めに撤去する。

それでも、クマに遭ってしまったら

とにかく落ち着く！

騒がず、走らず、ゆっくり後退する。子グマであっても絶対近づかない。

攻撃が避けられないときは急所を守る！

地面に伏せ、両手で首の後ろをガードして頭と首を守る。